

病害虫防除技術情報第13号

平成29年11月15日

三重県病害虫防除所

台風後の葉の傷みから黒腐病の発生が見られています

1. 対象作物： アブラナ科野菜（ハクサイ、ブロッコリー、キャベツ等）
2. 対象病害虫名： 黒腐病（病原細菌名：*Xanthomonas Campestris* pv. *campestris*）



(図1) ハクサイ (左)、ブロッコリー (右) 黒腐病 (いずれも発病株率100%のほ場)

3. 発生状況

病害虫防除所の11月の巡回調査（11月6日～10日）におけるハクサイほ場での黒腐病発生ほ場率は、80%と高く、発生圃場での発病株率の高いところでは、100%でした。（図1）

また、県内のブロッコリーほ場においても同じ病原細菌による黒腐病の発生を確認しています。

これは、台風21号（10月22日～23日）、台風22号（10月29日）と連続して通過し、強風を伴う大雨や冠水がありこれらの影響により、株が傷み、外葉を中心に感染したものとみられます。

4. 防除対策

- (1) 台風などで茎葉が傷ついたときに発生しやすく、予防的な薬剤散布が有効です。
- (2) 病斑部の病原細菌は、風雨により飛散して周囲の葉に二次伝染します。
- (3) ヨトウムシ、アオムシ、コナガ、ハムシ類などの害虫の食害痕も本病の発生を助長します。
- (4) 本細菌は、被害茎葉とともに土壌中に残存して翌年の伝染源となります。
- (5) 収穫後の被害茎葉を含む残渣は、ほ場外に持ち出し適切に処分して下さい。
- (6) 本細菌は、アブラナ科野菜の多くの作物に感染し発病します。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。